

ソフトビニール製品の加工技術 株式会社オビツ製作所

作：牧森小倉



世界中で愛されている
それがキューピー人形

いわゆるソフトビニール人形と
言われているものね



ローマ神話に登場する
愛の神キューピッドを
モチーフにしており



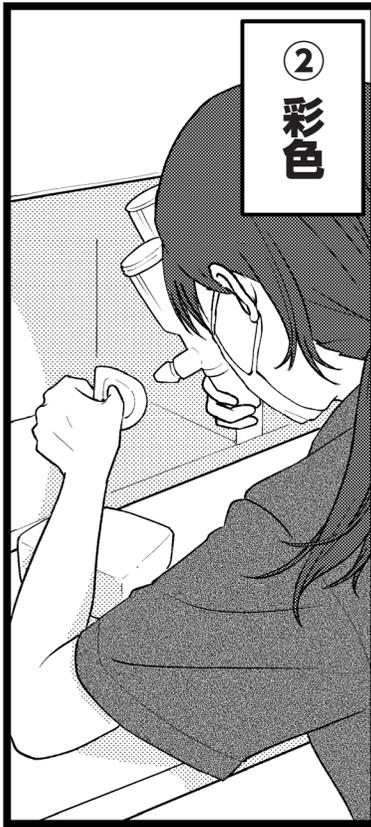
頭上中央に
とがった頭髪



そのオビツキューピー®を
作っている
オビツ製作所に
やってきました！

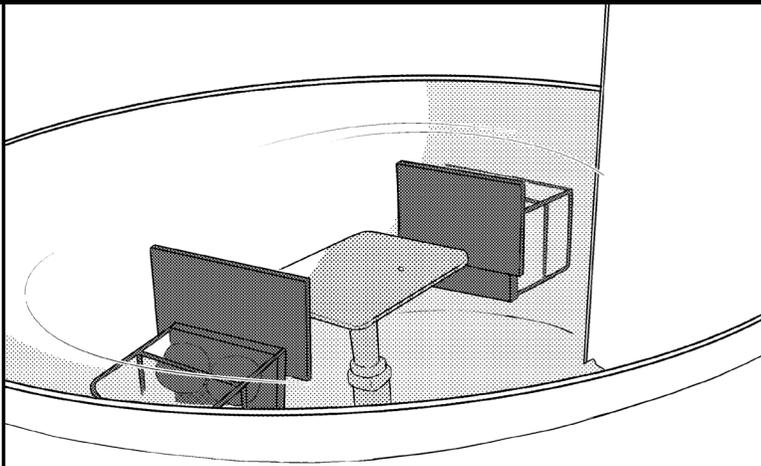


大きく愛くるしい目



脱泡

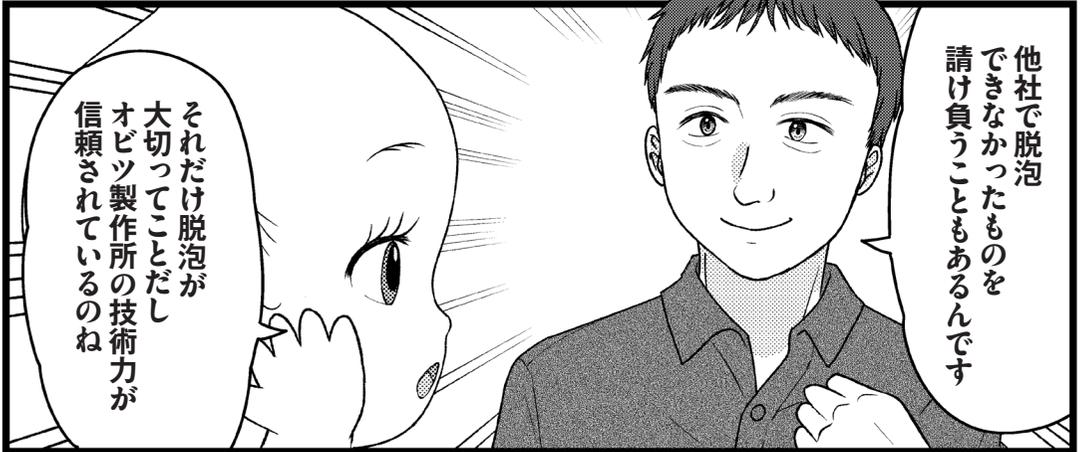
遠心力で気泡を抜く



型によって
職人さんの判断と工夫が必要

他社で脱泡
できなかったものを
請け負うこともあるんです

それだけ脱泡が
大切ってことだし
オビツ製作所の技術力が
信頼されているのね



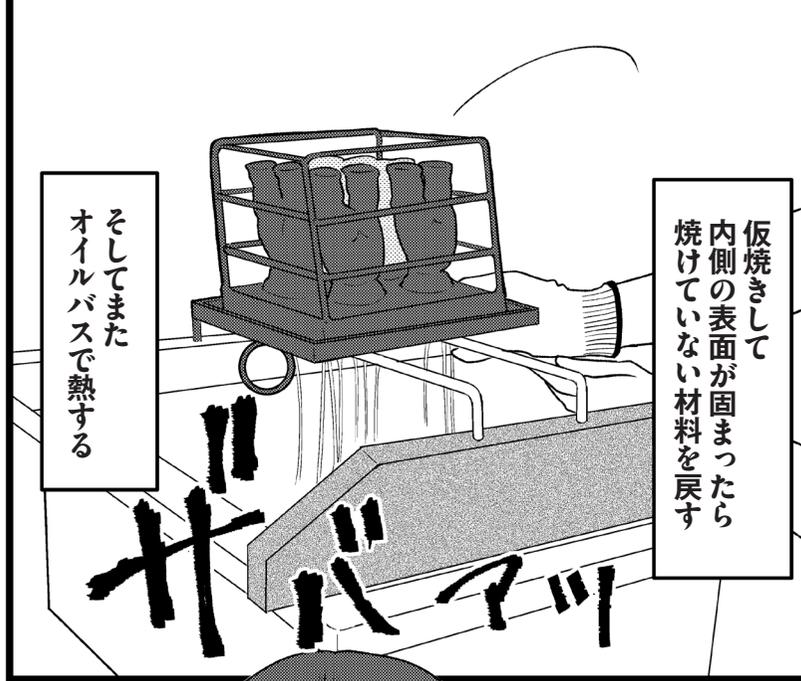
気泡を入れない
高い技術があるからこそ
透明なキューピー人形が
できあがった



裏側でも気泡が入ったら
目立つっちゃうものね

すっぴい
特別感ある♡

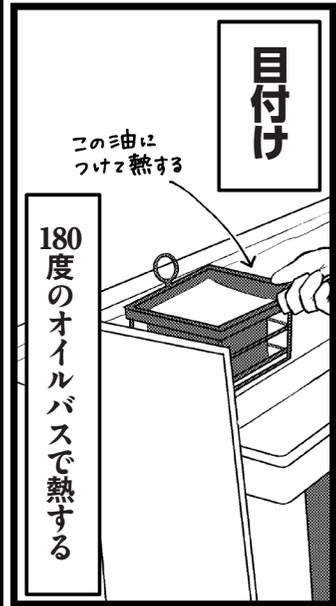




そしてまた
オイルバスで熱する

仮焼きして
内側の表面が固まったら
焼けていない材料を戻す

オイルバス



目付け

この油につけて熱する

180度のオイルバスで熱する



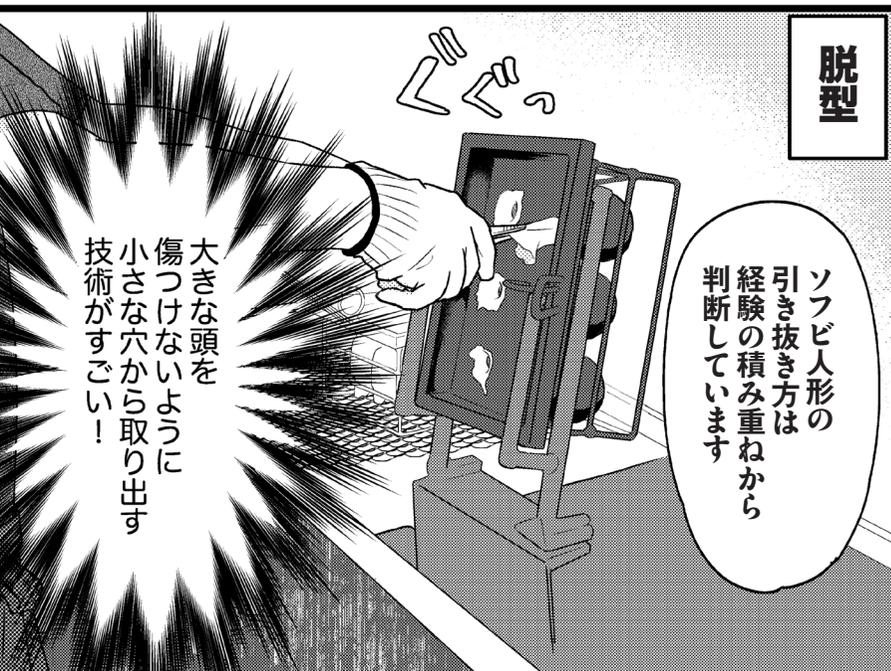
そんなに！

技術習得までに
約4年かかっています



直接目で確認して
色で判断することも必要

厚みによって
熱する時間が異なるため
常に時計とにらめっこ



脱型

ソフビ人形の
引き抜き方は
経験の積み重ねから
判断しています

大きな頭を
傷つけないように
小さな穴から取り出す
技術がすごい！



冷却

焼けたら水で冷やす



アイシヤドウやチークは
マスクがなく
本当にお化粧されてるみたい



② 彩色

塗装箇所のみが
くり抜かれた
専用マスクを当て
エアブラシで
塗料を吹きつける

目だけでも
これだけ塗装する



自社製品においては
一貫製造を完遂するため
植毛の作業も行っている

③ 植毛



1つ1つ手作りされていて
社員のみなさんが愛着が湧くと
言ってくれるのも納得ね



ソフビ人形には
熱いうちに型から抜かれたものと
少し冷めたあとに抜かれたものとで

見た目ではわからないほどの
少しの歪みがあるので

均一に塗れるよう調整してから
作業しているんです

彩色担当



オビツ製作所では
オビツキューピー[®]や
キャラクターソフビ (OEM) 以外にも

オビツボディ[®]を使用した
『オビツドール』などの
新しい製品開発もしている

これから先も
培ってきた技術を継承し
高品質でオリジナリテイのある製品を
企画開発していきたいです

代表取締役社長
牧 有里子氏